

『食品業界に潜む法律問題と危機管理 ～食の信頼、企業の信頼を守るために』

近年多発する食品業界におけるトラブル・不祥事。食品企業にとって、食の信頼は、企業の生命線です。トラブルを未然に防ぐためにどうすべきか。起きてしまったときにどう対処したらよいのか。

<食品表示法改正>などを踏まえ、<最新事例>を含めて、不測の事態に巻き込まれる前に知っておきたい基礎知識を、企業リスクマネジメント、食品・医薬品関連法等を専門とする石原修弁護士がわかりやすくお話しします。

また、食品の専門検査機関の立場から、<最近の食品事故事例>を当法人安田和男理事からお話しします。食品業界の経営者、法務担当者、食品安全担当者、品質保証担当者および自治体関係者が押さえておきたいポイントを包括的に構成した特別セミナーです。

日時：平成27年11月25日(水) 13時00分～16時00分(受付12時30分より)

会場：浜離宮朝日ホール 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

対象：食品関連企業(食品メーカー、流通、商社、輸入業等)の経営者、法務担当者、
食品安全担当者、品質保証担当者および自治体関係者

定員：200名 *お申込みは裏面をご覧ください。

参加費
(資料代含む)
1,000円

特別講演「食品業界に潜む法律問題と危機管理～最近の事件を中心として」

弁護士 石原 修 (TMI総合法律事務所 パートナー)

- 食品表示に潜む法律問題
- 食品成分に潜む法律問題
- 食品の偽装事件 <事例>
- 風評被害 <事例>
- SNSトラブル対策<事例>
- 不祥事が起きた場合の事後対応・リスクマネジメント



石原 修 (いしはら おさむ)
TMI総合法律事務所
パートナー弁護士
企業のリスクマネジメント・
コンプライアンス、広報法務を専門とし、
企業犯罪や銀行法・金融商品取引法・
独禁法関連事件等を多く担当する。また、
食品・医薬品関連法や知的財産権の分野も得意とする。

講演「企業防衛のための検査を考える」

安田 和男 (一般財団法人東京顕微鏡院 理事、
食と環境の科学センター 所長)

- 検査の必要性
- 予防検査～食品衛生に関わる検査～
- 食品事故～当法人が対応した具体的事例～
 - ーメラミン ーメタミドホス(餃子混入農薬)
 - ーマラチオン(冷凍食品混入農薬)
 - ーリステリア・モノサイトゲネス



安田 和男 (やすだ かずお)
農学博士。元東京都立衛生研究所(現東京都健康安全研究センター)食品化学部部長。
都衛研入所以来、食品衛生一筋。食品の有害化学物質の検査、それに関わる調査研究、取材対応に豊富な経験を有する。

パネルディスカッション「食品事故に潜む法律問題と企業の危機管理」

座長：西島 基弘(実践女子大学名誉教授)

パネリスト：石原 修 弁護士、安田 和男 東京顕微鏡院 理事

主催：一般財団法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター

後援：農林水産省、消費者庁、一般財団法人 食品産業センター

お問合せ先：一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室

〒102-8288 東京都千代田区九段南4-8-32 TEL. 03-5210-6651 FAX. 03-5210-6671



西島 基弘 (にしじま もとひろ)
薬学博士。実践女子大学名誉教授
日本食品衛生学会会長、厚生労働省薬事・食品衛生審議会添加物部会委員等の公職を歴任。食品における化学物質研究の第一人者。